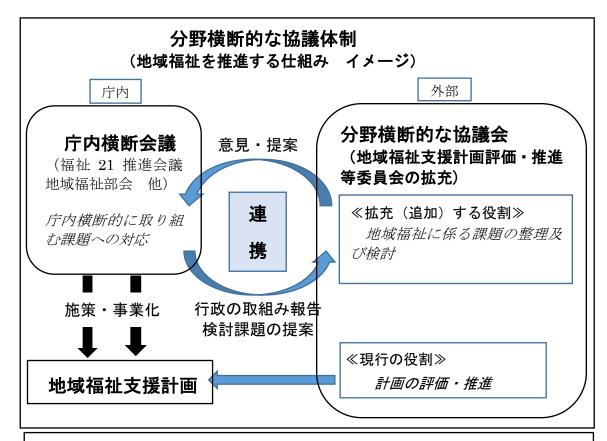
# 分野横断的な協議会について (神奈川県地域福祉支援計画評価・推進等委員会の拡充)

#### 1 概要

地域で抱える課題や単独市町村では解決できない課題等を把握し、広域的な支援 から部局を横断した支援につなげることを目的とした分野横断的な協議会につい ては、地域福祉支援計画評価・推進等委員会を拡充して実施する。

各福祉分野に関わる委員を含めることで、福祉計画の上位計画として、他の福祉計画との整合を図るとともに、各福祉分野における議論や視点を加えることにより、地域における複雑で複合的な課題に対してより一層議論を深める。さらに、委員会での検討結果を踏まえ、庁内横断会議において施策・事業化を検討する。



- ・協議会の構成員については、高齢者保健福祉計画、障害者計画等の委員、そ の他、関係する会議等の委員を含めることで、他会議等と連携を図る。
- ・必要に応じて、課題ごとのワーキンググループの設置や、関係者及び各団 体等からのヒアリングを実施する。

#### 2 追加する委員について

高齢、障がい及び子どもに関する県の個別計画に関わる委員が含まれるよう選考する。

ただし、<u>委員は各個別計画の代表(座長等)としてではなく、それぞれの計画に関わる委員として参加</u>していただき、各福祉分野の視点でのご意見をいただくものとする。…資料2-2参照

# 3 テーマ

今年度は、「地域福祉コーディネーター」を中心にした人材育成について検討・整理する。

## (背景)

国では、地域共生社会の実現に向けた取組みの推進として、複合化かつ複雑化している地域生活課題を「丸ごと」受け止める包括的な支援体制や、地域住民が「我が事」として捉える地域づくりについて示したところである。

地域福祉の担い手の養成については、市町村ごとにばらつきがみられ、また、関係する福祉制度が目まぐるしく変化している中、地域福祉コーディネーターに求められる専門的知識や能力について、再度整理し、「我が事・丸ごと」の地域づくりの核となるコーディネーター人材を育成する必要がある。

なお、県地域福祉支援計画(第4期)において、次のとおり目標を定めている。

### 【主な目標:地域福祉コーディネーターの育成】

今後、県では、地域福祉コーディネーターに求められる専門的な知識や技術について整理するとともに、市町村等で行う研修等の人材育成関係事業と連携を図りながら、「地域福祉コーディネーター」を育成していきます。

年度	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
新たな地域福祉コー	既存の研修等と	モデル事業	**
ディネーター研修	の整理、検討	実施	本実施

#### 4 今後のスケジュールについて

- ○第1回委員会 5/29 (火) 15時~16時45分
  - ・テーマ: 平成29年度評価について委員会の拡充について検討テーマについて(地域福祉コーディネーター)
- 〇第2回委員会 7/31 (火) AM …調整中

※第2回以降、拡充した委員会で開催

・テーマ:平成29年度評価について年度の評価方法の見直しについて地域福祉コーディネーターのモデル事業について

- ○第3回委員会 9月以降で調整
  - ・テーマ:地域福祉コーディネーターのモデル事業について